

## 鳥獣被害調査結果報告

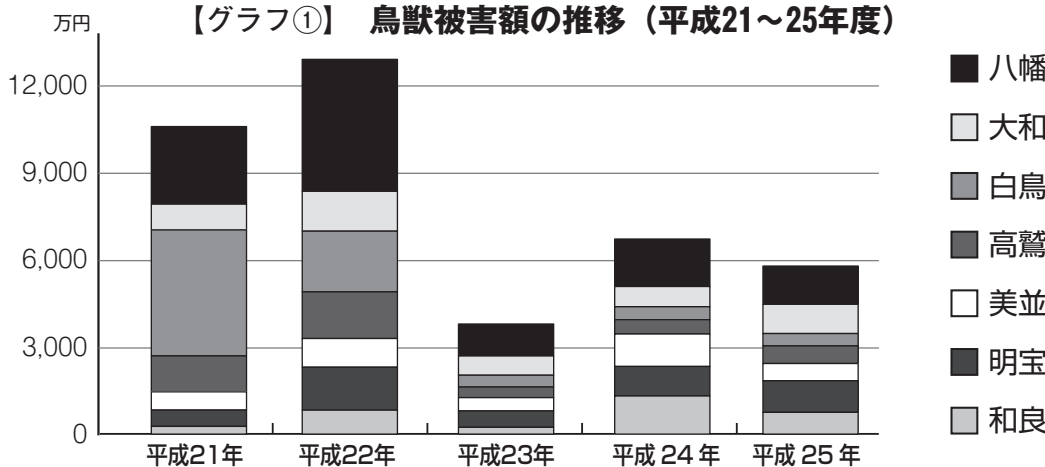
【表①】

### 地域別被害額

※被害額は、回答いただいた被害面積（数量）に作物の基準単価を乗じて算出しました。（単位：円）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	対前年比
八幡地域	26,814,228	45,609,524	11,044,966	16,414,764	13,221,607	80.5%
大和地域	8,898,271	13,789,570	6,659,161	6,991,227	10,099,520	144.5%
白鳥地域	43,569,148	20,984,599	4,085,844	4,471,768	4,280,127	95.7%
高鷲地域	12,411,177	16,115,515	3,668,399	4,967,630	6,081,616	122.4%
美並地域	6,289,186	9,924,800	4,593,751	11,215,388	5,971,179	53.2%
明宝地域	5,644,441	14,856,969	5,670,944	10,204,348	10,909,982	106.9%
和良地域	2,678,058	8,271,957	2,356,578	13,189,236	7,537,816	57.2%
被害総額	106,304,509	129,552,934	38,079,643	67,454,361	58,101,847	86.1%
被害件数	1,300件	1,563件	1,015件	1,281件	1,171件	91.4%

【グラフ①】 鳥獣被害額の推移（平成21～25年度）



▼調査期間：平成25年1月1日～12月31日  
 ▼調査対象：市内全農家（各地区の農事改良組合に所属する農家）  
 ▼調査方法：農事改良組合長を通じて調査票を各農家へ配布し、農産物の被害の有無、被害面積（被害量）を報告していただきました。

### 平成25年鳥獣被害調査結果

市内では、サルやシカ、イノシシをはじめとする鳥獣による農作物の被害が大きな問題となっています。その被害額はピーク時の平成22年には約1億円を上回ることもありました。市では、有害鳥獣の捕獲、防護柵の設置とともに、各地域における被害状況の調査を行い、実態把握に努めています。

平成25年に集計した結果では、被害総額【表①】は約5800万円となり、前年対比86.1%に減少する結果となりました。この被害額は過去7年の鳥獣被害額推移【グラフ①】では、平成23年に次いで低い被害額となります。地域ごとの被害額をしてみると、特に美並地域と和良地域で被害額が大きく減少していることがわかります。また、被害件数は1171件であり、前年より110件減少しました。

鳥獣別被害額【表②】を見ると、イノシシの被害額が約340万円、サルの被害額が約450万円減少していることがわかります。一方で、シカの被害額は変化しておらず、被害割合【グラフ②】は37.7%となり、被害総額は依然2千万円を上回っています。それ以外ではネズミやキツネ、モグラなど（不明に分類）主要鳥獣以外による被害があり、被害額約340万円と前年対比1.5倍に増加しました。

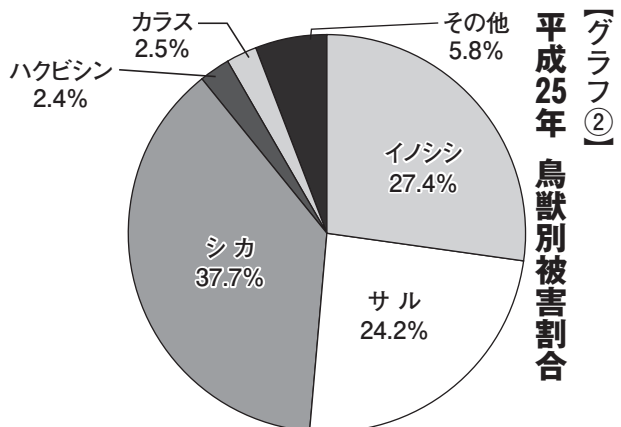
作物品種別被害額【表③】では、水稲が被害額約2600万円と一番高く、被害割合【グラフ③】は全体の44.6%を占める形となりました。また牧草、飼料米などの飼料作物の被害額が大きく、被害総額は約790万円となっています。地域ごとの被害額をグラフで見ると、高鷲、明宝、和良の3地域でシカ被害が5割を

【表②】

### 鳥獣別被害額

（単位：円）

	平成24年	平成25年	対前年比
イノシシ	19,328,733	15,939,106	82.5%
サル	18,509,928	14,036,149	75.8%
シカ	22,165,201	21,933,193	99.0%
ハクビシン	1,777,132	1,369,836	77.1%
カラス	3,478,811	1,425,606	41.0%
不明	2,194,555	3,397,957	154.8%
被害総額	67,454,361	58,101,847	86.1%



【グラフ②】 平成25年鳥獣別被害割合

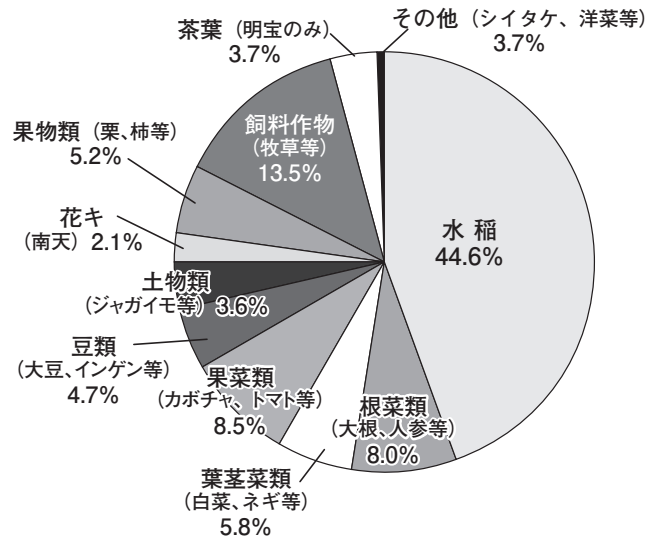
【表③】

作物品種別被害額

(単位：円)

作物名	被害額(H25)	割合
水稻	25,941,839	44.6%
根菜類(大根、人参等)	4,637,399	8.0%
葉茎菜類(白菜、ネギ等)	3,345,251	5.8%
果菜類(カボチャ、トマト等)	4,919,256	8.5%
豆類(大豆、インゲン等)	2,737,253	4.7%
土物類(ジャガイモ等)	2,067,176	3.6%
花き(南天)	1,216,838	2.1%
果物(栗、柿等)	3,038,613	5.2%
飼料作物(牧草、飼料米等)	7,872,257	13.5%
茶葉(明宝のみ)	2,126,745	3.7%
その他(シイタケ、洋菜等)	199,220	0.3%
合計	58,101,847	100.0%

【グラフ③】 平成25年 作物別被害額の割合



**八幡地域**

動物	割合
シカ	34.8%
サル	28.0%
イノシシ	29.4%
不明	3.7%
カラス	1.7%
ハクビシン	2.4%

被害額が全地域で最も高い八幡地域は、イノシシ、サル、シカがそれぞれ約3割を占めています。



農林水産部 農務水産課  
67-18335

超える結果となりました。平成25年に被害が増加した飼料作物の大半はシカに被害を受けており、市内ではシカ増加にともなう作物被害の深刻化が懸念されます。

**白鳥地域**

動物	割合
イノシシ	62.0%
シカ	14.7%
サル	2.8%
不明	9.0%
カラス	6.0%
ハクビシン	5.5%

白鳥地域は被害額が最も少ないですが、イノシシの被害が全体の約6割にも及んでいます。

**大和地域**

動物	割合
イノシシ	37.4%
サル	30.6%
シカ	16.5%
不明	8.3%
カラス	3.4%
ハクビシン	3.8%

増加率が最も大きい大和地域は、イノシシの被害が全体の約4割を占めています。

**美並地域**

動物	割合
サル	42.6%
イノシシ	20.7%
シカ	24.3%
不明	10.6%
カラス	0.6%
ハクビシン	1.2%

サルの被害が最も多く全体の4割を超えますが、その他の鳥獣の被害が目立ちます。

**高鷲地域**

動物	割合
シカ	56.8%
イノシシ	28.2%
サル	8.0%
不明	5.4%
カラス	0.6%
ハクビシン	1.0%

シカの被害が5割を占めますが、サルの被害はほとんどありません。

**和良地域**

動物	割合
シカ	57.6%
サル	29.8%
イノシシ	6.1%
不明	1.0%
カラス	3.9%
ハクビシン	1.6%

シカの被害が全体の5割を超えています。被害額は前年の6割になりました。

**明宝地域**

動物	割合
シカ	53%
サル	16.8%
イノシシ	20.2%
不明	6.0%
カラス	2.2%
ハクビシン	1.8%

被害割合は高鷲に似てシカ、イノシシ、サルの順で被害が多くなっています。